

## 5A病棟 病棟レクリエーション

私達の5A病棟には、日常生活のほとんどに介助が必要な患者さんが多く入院されています。日中のかなりの時間をベッドで過ごされる方も多いため、離床の機会を増やすため、また普段あまり関わりのない他患者さんとのコミュニケーションをとっていただくという目的で、今年の3月より1週間に1度、『病棟レクリエーション』をリハビリスタッフと病棟スタッフで行うことにしました。

### クイズ わかるかな～？



皆で輪になり隣の方に次々とボールをまわしていくゲームを行った時には、ある患者さんが隣に座っている方の、麻痺の残る手を気遣いながら、優しく声をかけてボールを渡している、とても温かい光景が見られました。また歌を歌い始めると、自然に患者さんが手拍子をしてくれたり『出来ないから』と、なかなか体操に参加できなかった方がスタッフと一緒に行動することでしっかり体操ができ、終了後『出来ましたね』と声をかけると、とびっきりの笑顔を見せてくれました。

### 春の運動会より 患者さんのご家族も参加しての綱引き



レクリエーション内容はその時期によって、また参加メンバーによって異なり、クイズ、楽器を使ってのリズム体操、玉入れなど様々です。始めたばかりの頃は参加している患者さんも戸惑いがちでしたが、何度か行っているうちに、自室に閉じこもりがちなお客さんがレクの時間に自分からDルームに来て下さるようになったり、あまり感情を表出されない患者さんが、他の方が間違えたクイズの答えに大笑いする場面をみるようになりました。

### リズム体操のひとつコマ



スタッフも患者さんに合った歌の選曲や、クイズの内容や体操の内容など、日々、頭を悩ませています。奥様が一生懸命ピアノを弾かれる姿に感動されているご主人や、ご主人とご一緒に参加し、会を盛り上げて下さる奥様の歌声、そして何より患者さん達の元気な声や、素敵な笑顔に助けられています。お一人おひとりの患者さんが楽しみながら参加することができ、1つでも多くの笑顔や喜びが引き出せるように、これからも続けていきたいと思っています。

### 5A 担当リハビリスタッフより

レクリエーション開始から約3か月が経過しました。開始当初はリハスタッフもどのような企画が良いのか、果たして成功するのか不安も多かったです。しかし、回を重ねてゆくとリハ中には見られないような手や足の動きに笑顔などの表情……。新しい発見に驚かされています。レクでの発見を家族も含めて全員で共有でき、小さな変化や可能性を見逃さない。それをリハやケアに生かせたらと思います！！

